

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医療簿記 I Medical Bookkeeping		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(医療事務専用クラス)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
医療簿記 II				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
山崎 好一	非常勤講師室	授業内で指示する		授業中に指示します
授業の概要				
簿記を初めて学ぶ人を対象に、簿記の基本である取引とその仕訳を中心に、講義、演習を行う。簿記とは何かといった簿記の基本を学習する。日商簿記3級資格取得を目指す受講者は、本講座の授業と合わせて相当数の時間を割いて自習をしなければならない。検定試験の指導については、後日、連絡する。又、医療事務に携わる勘定科目について学習する。				
授業の目標				
①簿記上の取引の認識とその仕訳をすることができるようにする。 ②仕訳帳に仕分することと、総勘定元帳への転記ができるようにする。 ③転記が正しいかをチェックするために試算表の作成ができるようにする。 ④商業簿記と医療会計の違いを理解し、それぞれの仕訳ができるようにする。				
授業の方法				
演習テキストに沿った講義と問題演習で簿記の基本を習得する。毎回ピアインストラクションを実施し、講義内容を明確にする。又、ミニッツペーパーを行い、理解度を把握し、その後の授業に役立てる。				
学習の成果（学習成果）				
①簿記上の取引と仕訳を明確にして経済活動を数値化できる。 ②日常生活を数式的思考で捉えることができる。 ③医療会計の勘定科目を処理することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	シラバスの説明、概要説明、簿記とは			
第2回目	簿記上の取引と仕訳の8要素			
第3回目	仕訳と転記を明確にする			
第4回目	試算表の作成（簿記一巡の流れより）を行う			
第5回目	現金と仕訳、転記（現金の入出金の把握をする）			
第6回目	収益と仕訳、転記（収益の種類と金額を確認する）			

第7回目	費用と仕訳、転記（費用の種類と金額を確認する）
第8回目	当座預金と仕訳、転記（当座預金の入出金を明確にする）
第9回目	商品売買Ⅰと仕訳、転記、小テスト（商品の売買と現金取引について明確にする）
第10回目	商品売買Ⅱと仕訳、転記（商品の売買と値引返品について明確にする）
第11回目	その他の取引Ⅰと仕訳、転記（貸付金と借入金の取引を明確にする）
第12回目	その他の取引Ⅱと仕訳、転記（立替金と預り金、固定資産の取引を明確にする）
第13回目	試算表の作成Ⅰ（試算表の種類と作成方法を明確にする）
第14回目	試算表の作成Ⅱ（仕訳から試算表の作成ができる過程を明確にする）
第15回目	商業簿記と医療会計の違い、医療会計の勘定科目を引用できるようにする
事前・事後学習	授業で不明であった点は、必ず次回授業までに調べておくこと。また科目担当者に質問に行くこと。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高点(S)としては、無遅刻・無欠席で、積極的に授業に参加すること
レポート		
調査報告書		
小テスト	10%	授業の進捗に合わせて確認テストを行い、理解度に応じて評価する
試験	60%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

合格テキスト日商簿記3級（TAC出版） 合格トレーニング日商簿記3級（TAC出版）
--

履修上の留意点・ルール

①電卓と筆記用具は必ず持参する ②グループワークに積極的に参加する ③分かりにくい点があれば積極的に質問する ④携帯電話の使用(送受信・その他の使用)は禁止(緊急の場合は講師に申し出ること)
--